

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・当ホテルは中部国際空港への直通特急が停車するため、利便性の向上により宿泊客数は増加している。	
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・中部国際空港の開港、愛知万博の開催を控えて来客者が増え、商店街の来客数も若干増加している。ただし販売価格は低い。	
	やや良く なっている	一般小売店〔土 産〕（経営者）	来客数の動き	・月初は雪に見舞われたがあとは比較的好天に恵まれ、観光客数、売上ともに好調に推移している。	
		一般小売店〔高 級精肉〕（企画 担当）	販売量の動き	・こだわりのある食材商品の販売価格は上昇しており、苦しい家計のなかでも自分にとって価値ある商品は強い。	
		百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・月前半はクリアランス商品を展開していたが、クリアランス商品のサイズが品薄になると新作を求める客が多い。クリアランスの売上も昨年と比べると増加している。	
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客単価が徐々に上昇している。	
		スーパー（総務 担当）	単価の動き	・客単価が1.8%ほど上昇している。	
		スーパー（仕入 担当）	販売量の動き	・節分、恵方巻き、バレンタインデー、卒業などのお祝い事のメニューが当たっている。特に恵方巻きの売行きがよく、中部地方にも浸透してきている。	
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・一番悪い時に比べると少し良くなっている。菓子の新商品の動きが少し良くなっている。	
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・決算時期でもあり、来客数は増加しており、来店してから購入までの時間も早くなっている。客は、以前と比べて不安材料が少なくなり、所得収入のめどが立っている。	
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・新型車の発売と決算期が重なり、前年比100%を越えた受注となっている。売れ筋は両極端で、新型小型車と大型ワゴン車がよく売れている。小型車が売れるのは今まで通りだが、大型車が飛ぶように売れるのは最近なかった傾向である。	
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・土曜日や日曜日の来客数が以前に比べて増えている。	
		その他専門店 〔雑貨〕（店 員）	販売量の動き	・商圏が活性化している。	
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・例年2月は暇なのだが、中旬以降来客数が少しずつ増加している。1等地に移転して4か月になり、客がなじんできたことも考えられる。	
		その他飲食〔仕 出し〕（経営 者）	お客様の様子	・中部国際空港が開港し、街に期待感があふれてきている。	
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・2月は来客数が一番落ち込む時期であるが、今月の来客数は良くなってきている。ただし単価は良くない。	
		都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・例年2月は閑散期であるが、中部国際空港が開港し、愛知万博の開催を1か月後に控えて、宿泊は前年比10%程度の増加となっている。	
		旅行代理店（経 営者）	来客数の動き	・中部国際空港の影響で来客数は少し増加している。	
		変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・中部国際空港の開港に伴い、空港内に出店している系列売店や中部国際空港への人の流れと関連がある店舗の売上は非常に良い。しかしそれ以外の売店は非常に落ち込んでいる。
			商店街（代表 者）	単価の動き	・年間で最も低調な時期でもあり、売上数は少ない。ただし客単価は大きく動いている。
一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き		・必要なもの以外は買わないという傾向はますます強くなっている。相変わらず財布のひもは固く、値段を安くしても同じである。		

一般小売店 〔酒〕（経営者）	単価の動き	・今月は寒い日が比較的多く客足が鈍い。 ・年初よりビール、発泡酒のリベート廃止によって価格が改正されるはずだったが、大手スーパーの価格が据え置かれたままであるため、10円程度の値上げをしたくてもなかなかできず苦慮している。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	競争相手の様子	・地元では3月に大型店がオープンするため、他の店はそれに合わせてリニューアルやオープンを予定し、今月は様子見で動きが乏しい。
一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・最近になりインフルエンザがはやり始めて医療機関が忙しくなり、当店も多少忙しくなり始めている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・インフルエンザや風邪等がはやり、客や店員も体調が悪いようで、楽しく買物する気分ではなく売上も不調である。
百貨店（企画担当）	お客様の様子	・冬の寒さが緩み始めたことに加えて、中部国際空港の開港など消費を後押しするイベントが満載であるため、来客数は多い。しかし、百貨店販売の軸である春物ファッションの動きは鈍く、消費者は物よりイベントに興味に向いている。
百貨店（企画担当）	販売量の動き	・バレンタインデー商戦は好調で、売上は前年から大幅に伸びている。一方で冬らしい気候が続いていることもあり、春物衣料の動きがほとんど見られず、全体としては売上は伸びていない。中部国際空港の開港後は来客数も落ち込んでいる。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・好調だった1月の反動で2月は軟調に推移している。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・相変わらず大型店の出店ラッシュが続いており、客の動きも安売り競争に影響されている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・昨年はうるう年で1日多かった影響もあるが、前年比の客数は減少している。また客単価も低下しており大変厳しい月である。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は相変わらず95%前後を推移しており、回復の兆しは依然としてみられない。
スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数の落ち込みが顕著である。
スーパー（店員）	単価の動き	・新店オープンのため特別価格で安く提供していることもあるが、客は買物かごにたくさん商品を入れているが一品単価は低い。定番商品等の動きも必ずしも良いとは言えない。
スーパー（店員）	単価の動き	・1人当たりの買上金額、点数が低い。セール商品のみ購入する客が多く、売上は増加しない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・競争激化による売上の前年割れ状況が継続している。客の購買意欲はあるが、衝動買いは少ない状況である。
コンビニ（売場担当）	単価の動き	・愛知万博の影響で売上は増えている。しかし単価は上がっていない。
コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・相変わらず新商品の売行きに回復の兆しがない。
衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・廃業して他の仕事に働きに出る同業他社が出始めている。今は同業他社の客先が弊社に流れてきているが、いつまでもつか心配である。
衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・冬物セールの売行きが悪い。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・売上は微減である。客は慎重な買物姿勢を続けている。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数の減少を客単価の上昇でカバーする状況が続いている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・電話での問い合わせの後來店するなどの下見件数が例年と比べて少なく、通常月と同様に推移している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・先月と同様に、今月も例年より車はよく売れている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・土日のイベントでは、来場者数、受注台数とも増加傾向にあり、市場は年度末決算に向け膨らみつつある。しかし購入までの検討期間は相変わらず長く、客の財布のひもはまだ固い。

自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・競合店として自動車ディーラーが脅威になっている。ディーラーは新車販売時にETCを装着、販売し、その後もオイル交換、部品交換、車検等々に力を入れ、きめ細かく対応している。	
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・住宅建設、公共工事とも横ばいで、価格競争が激化している。	
その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・客が求める商品は高額商品が割安な商品に二極化している。そのなかで、高額商品の伸びは悪い。	
その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・バレンタインデーの客動向は年末と比べてもほぼ変化なし。	
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前半は前年度と比べて売上好調であったが、この1週間は急に落ち込んでいる。寒さがやわらいできたことも要因と考える。	
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客単価、来客数ともあまり変化がない。	
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・中部国際空港の開港に伴い宿泊客数は増加しているが、レストランの来客数は伸びていない。	
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・愛知万博の開催、中部国際空港の開港という話題がある一方で、景気が良い企業と良くない企業の差が販売量ではっきりし始めている。製造業の下請企業の経費削減努力は限界である。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・中部国際空港が開港し、新空港関連の商品がようやく売れ始めている。中部圏の客は実際にイベントが始まらないと重い腰を上げない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・今月は中部国際空港の開港があるが、繁華街の人の動きにはここ1、2年変化がない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・繁華街の人の通りは相変わらず少ない。そのため街で遊んでいると不安になると言う客もいる。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・例年新規契約が落ち込む2月にしては、前月並みは保っている。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・当園は冬季はスキー、スノーボードをする若年層がメインとなるが、景気が良い状況にはない。	
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来場者数、売上とも今月は予算を大幅に下回っている。積雪による休業やサービス券利用客の増加による単価の低下、飲食代の減少等の影響がある。	
設計事務所（職員）	競争相手の様子	・愛知万博関連の仕事が終了し、終了後のオブジェなどの買取り客も以前と比べると少ない。他の設計事務所では給料が遅れる事業所もある。	
設計事務所（営業担当）	競争相手の様子	・相変わらず受注は全くない。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅の受注量は減少しているが、店舗や工場等の受注量は増加している。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減少しているため、売上、販売量とも減少傾向にある。例年なら2月20日から3月にかけてはひな祭り関係で商品が動く時期であるが、今年は動きが非常に悪い。
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・競争相手の小売価格は当店の仕入価格より安い。いろいろと対策を講じてはいるが太刀打ちできない。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・月初の雪や下旬の低温等の天候不順により、春物の動きが悪く苦戦している。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・クリアランスは好調であったが、2月中旬から冷え込みが厳しく、春物の定番商品の動きが悪い。
	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・1月は冬物が好調で来客数もあったが、今月はその反動なのか来客数、売上ともに良くない。店内外で実施する外商の集客催事では特にひどく、来客数、売上とも予定を大きく下回っている。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・客は慎重な買物をしており、買上品数が若干ながら減っている。
	スーパー（店員）	販売量の動き	・3か月前と比べて、2月は当店だけでなく系列全店で良くない。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・1、2月は前年比で来客数は1割弱の減少、売上は1割強の減少である。小売免許の距離基準、人口基準の廃止等、自由化の影響がある。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価の低下が継続している。前年比約3%低下している。

		コンビニ（店長）	販売量の動き	・土曜日、日曜日は来客数、売上ともに以前より一層悪くなっている。大型スーパーやショッピングモールの影響が考えられる。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・様々な要素が影響している。なかでも大きいのは来客数の減少である。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・空気清浄機などはある程度売れているが、全般的には不調である。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・販売量の動きを見ていると、目立って悪いということはないが、若干下方に進んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数、電話での問い合わせなど、いろいろな面で余り良くない。
		その他専門店〔玩具〕（店員）	来客数の動き	・客数の減少に歯止めがかからない。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・個人客は前年並みの水準を維持しているが、法人客は一段と落ち込んでいる。2月は例年動きに乏しい月であるが、今年は特に著しい。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・低価格での利用が増えている。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・安価な商品はある程度売れているが、客単価が伸びていないため売上は大きく落ち込んでいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・中部国際空港が開港したが、名古屋市内から遠いため今までタクシー利用していた空港客が電車を利用している。その影響で乗車当たり料金が低下している。
		通信会社（営業担当）	競争相手の様子	・競争相手が販売価格を値下げしており、収益が悪化している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数が減少している。
		テーマパーク（総務担当）	来客数の動き	・来客数は前年をかなり下回っている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店サイクルがかなり伸びている。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・契約件数が減少している。
		住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・今月は特に客が慎重で、契約の話が出来ないこともよくある。
	悪くなっている	コンビニ（店長）	販売量の動き	・販売量、来客数ともに減少している。
		ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・地元の大手ゴルフ場経営グループが民事再生法を申請した影響で、会員権の購入に不安を感じているため、会員権販売は激減している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	鉄鋼業（経営者）	それ以外	・大手製鉄会社の決算が大幅黒字になり、景気は上向きである。しかし内需は伸びていないため、実質的ではない。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・昨年、3か月前と比較して、製造業の設備投資はかなり底堅い。
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・製造業をはじめ非常に活発な荷動きになってきている。
		企業広告制作業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一時的かもしれないが、受注量は増加している。
		行政書士	受注量や販売量	・運輸業では出荷量が少し上昇している。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・各社とも積極的に動いているが、当社でも大きな仕事が続く非常に忙しい。海外では中国、タイ、欧州が中心で、国内にも大きな動きがある。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・プレゼン装置の国内販売は3か月前に比べて増加しているが、大学など学校向けの販売は減少している。監視カメラ関連は、販売台数は増加しているが価格競争が厳しく売上は横ばいとなっている。海外販売は微増であるが、円高により損益面で影響が出ている。
		電気機械器具製造業（従業員）	取引先の様子	・衣料販売の動きが乏しいため、縫製企業の投資意欲は依然低調であり、実出荷に結びついていない。
		電気機械器具製造業（従業員）	取引先の様子	・客先の好不調がはっきりしている。出張旅費が認められず来社予定をキャンセルする客が2、3社ある一方で、納品の前倒しを依頼してくる客も2、3社ある。

	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・年度末に向けて販売数は増加しているが、受注単価は低下している。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・2月に入っても1月同様荷物量が増加せず、前年を下回っている。全く荷物が動いていない状況である。	
	金融業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・2月は物が動かない月だが住宅は昨年と比べて動いており、それに伴い住宅ローン、火災保険も堅調である。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・顧客企業から新製品のPRのため印刷媒体を依頼する案件が多少増えているが、全体としてはほとんど変わらない。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・住宅団地では買い手がなく、値下がり状況が続いている。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・今月は公共工事の下請をしている会社は多少忙しいようであるが、民間受注が主な会社は低迷が続いている。	
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・確定申告の時期であるが、顧問先の売上や所得はそれほど変化していない。顧問報酬の入金が遅れている事業者もあるが、その数も増減していない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・当社の取引先である卸売業、小売業の両方で、既存店ベースの商品売上は前年を下回っている。	
	化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・価格が安くても販売量が増えない状況になってきている。	
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・大型プロジェクトが一段落して、仕事量が減ってきたと言う声が多い。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・原油価格の高騰が続いており、顧客企業の投資は期待できない。受注成約も大幅に遅れている。	
	広告代理店（経理担当者） 公認会計士	取引先の様子	・問い合わせや発注の動きが鈍くなっている。新規客が減少している。 ・製造業の出荷状況、飲食店の入店状況、運送業の稼働状況等を総合的に判断して、昨年末と比べるとやや悪くなっている。	
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較して、1月に続き2月も大幅な減収減益となっている。	
	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料が高騰しているが、販売価格になかなか転嫁できない状況が続いている。単価が上昇しないだけでなく販売量もあまり伸びない状況で推移している。	
	輸送用機械器具製造業（統括）	取引先の様子	・コスト低減要請が強烈で、採算確保が非常に難しくなっている。	
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員の求人案件の受注が引き続き好調である。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・引き続き製造業が好調である。他の業種もそれに引っ張られて好調に推移している。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・食品、物流、精密、業務用冷凍冷蔵庫、エネルギー事業、サービス、保険、建設産業機械レンタル、IT関連のシステムエンジニアなどの求人意欲が高まっており、追加募集で採用者を増加させる動きが出てきている。
やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材不足感が先月より一層高まり、受注増加に対して人材が追いつかない状態が続いている。特に新規注文が前年同月比150%と著しく増加している。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は、3か月前に比べて、月間有効求人数が0.1%増加し月間有効求職者が6.4%減少しているため、0.09ポイント上昇し1.38倍となっている。前月比では0.01ポイント上昇している。 ・新規求人は、前年同月に比べて、製造業が15.8%増加しているが、建設業で29.0%、サービス業で32.7%、卸・小売業で5.3%減少している。全体では9.9%の減少となっている。	
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・1月に比べて求人数が増えている。12月との比較では2割ほども増えている。	

変わらない	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・新卒の求人状況は前年比20%増である。ただし各企業とも採用基準を若干厳しくする動きにあり、就職希望学生にとっては必ずしも広き門とはなっていない。企業側は採用するに足る人材のみを求めており、基準に満たない人は採用していない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・万博景気で請負業を中心に求人件数が多い。スポーツ紙上の求人件数も維持している。しかし正社員募集は増えていない。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人数は増加傾向にあるが、中高年の採用者数は減少している。また時間給のパート採用者が増加しており、依然として求職者には厳しい状況である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・派遣や請負の求人数が増加傾向にある。
	職業安定所（管理部門担当）	求職者数の動き	・新規求職者数が減少しているが、その要因として雇用形態の希望の相違による求人、求職の不適合がある。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・キャリア採用の求人数は引き続き緩やかに増加している。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-